

「水都大阪」の魅力の再発見、近場で非日常を楽しむ ～東横堀川PRプロジェクト



#水都大阪 #東横堀川 #魅力発信

目的

大阪で一番古い堀川である東横堀川は、高速道路に覆われているため認知度が低い
この地域の魅力を掘り起こし、若者の認知度を高めることで、地域の活性化につなげる



活動の概要

- 主な連携先
水都大阪コンソーシアム/eよこ会(東横堀川水辺再生協議会)
- 活動地域
大阪市東横堀川界隈
- 活動期間
2021年7月～2022年3月
- 活動資金
地域連携活動に対する補助事業

連携にいたる経緯

2020年度に関西大学とJAF大阪支部の産学連携活動として、『JAFMate』やweb媒体を用いて水都大阪を紹介する誌面を作成したことをきっかけに、水都大阪コンソーシアムと連携し、大阪の水辺の魅力若者に伝える企画を展開するようになった。



活動内容

- 2021年
- 5月～6月 資料調査、フィールドワーク及びeよこ会、水都大阪コンソーシアムの関係者への聞き取りを通じて、東横堀川地域の歴史や現状を把握し、地域への理解を深めた。
 - 7月～9月 東横堀川界隈のイベントに参加。2021年夏にオープンした水辺施設β本町橋、東横堀川水門事務所、結納関連用品専門店の溢谷利兵衛商店、山本能楽堂を取材し、関係者へのインタビュー動画を撮影し、サップからの水上の景色も撮影した。
 - 10月～11月 東横堀川のオリジナルキャラクター(「ひがよこくん」)をデザインし、ステッカーを作成した。取材映像の編集作業を進めた。
 - 12月 外国人留学生エキスポ2021(12月4日)、2021年度水都大阪アカデミア(12月18日)で成果報告を行った。
- 2022年
- 3月 β本町橋で開催された「第1回東横堀川 川びらき」で、東横堀川PR映像の上映会と制作秘話に関するトークショーを実行し、JCOMの取材を受けた。

活動の成果

- ▶ 若者向けに水辺の魅力を伝えることができ、東横堀川地域の方々との交流も深められた
- ▶ 水都大阪の歴史と発展への理解が深まった
- ▶ 活動に関わった学生たちの取材力、コミュニケーション力、情報発信力が向上した

今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶ 引き続き水都大阪コンソーシアムと連携し、学生目線で水の都・大阪の魅力を発信していく
- ▶ フィールドワーク、取材、聞き取り、映像制作のプロセスや方法を再検討し、その経験や教訓を今後の活動に生かす
- ▶ プロジェクト終了後も、学生たちが継続的に活動地域と関われる環境を作っていく

「東横堀川魅力発信動画
～関西大学社会学部メディア専攻 劉ゼミ作成～」



動画はこちらより
ご覧ください



連携先からの一言

若い新鮮な視点で地域の魅力が
ぎゅっと詰まった素敵な動画を作っ
ていただきました。取材や撮影にまちぐ
るみで協力でき嬉しく思います。また
いつでも遊びに来てくださいね！
(eよこ会(東横堀川水辺再生協議会))

社会学部 教授 劉 雪雁 Liu Xueyan



専門分野は国際メディア論。近年、訪日外国人観光客と地域活性化の関係について調査研究を行っている。

